

事業計画書

1. 事業の概要

① 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類

排出事業者との契約に基づいて解体工事現場等から発生するこれらの産業廃棄物をダンプ等により収集運搬し、積替え又は保管を行わずに、排出事業者の指定する処分施設等に搬入する。

なお、自動車等破砕物であって不要物であるものは取り扱わない。また、廃石膏ボード及び廃容器包装であるものは、安定型最終処分場に搬入しない。

② 紙くず

排出事業者との契約に基づいて建築又は解体工事現場、紙製品製造・出版・印刷業者から発生する紙くずをダンプ等により収集運搬し、積替え又は保管を行わずに排出事業者の指定する処分施設等に搬入する。

③ 木くず

排出事業者との契約に基づいて建築又は解体工事現場、木材又は木製品製造業者から発生する木くずをダンプ等により収集運搬し、積替え又は保管を行わずに排出事業者の指定する処分施設等に搬入する。

④ 繊維くず

排出事業者との契約に基づいて建築又は解体工事現場、製糸・紡績・織物業者から発生する天然繊維くずをダンプ等により収集運搬し、積替え又は保管を行わずに排出事業者の指定する処分施設等に搬入する。

⑤ 廃油

排出事業者との契約に基づいて排出事業所から発生する廃油をドラム缶、プラスチック容器等に密封した上でダンプ等により収集運搬し、積替え又は保管を行わずに排出事業者の指定する処分施設等に搬入する。

2. 処理業務の受託

① 排出事業者から産業廃棄物の収集運搬を受託しようとする時は、当該産業廃棄物の種類、性状、処分先、処理金額等を記載した書面、写真等の提出を求め、許可の範囲内で適正に処理できることを確認のうえ文書で受託契約を締結する。必要に応じて廃棄物排出状況の視察を実施することにより適正処理の確保に万全を期す。

② 有害物質使用工程から発生する産業廃棄物の処理を受託しようとする場合には、有害な産業廃棄物に該当するかどうかに関わらず、分析試験の試験結果書の写しの提出を求め、許可の範囲内で適正に処理できることを確認のうえ受託する。

③ 宮城県以外の都道府県から排出された廃棄物を仙台市内で処分しようとする場合には、上記2・①で求めた書類のほか、自治体の定めるところにより排出事業者が事前に届出を行った内容を確認のうえ受託契約を締結する。

④ 受託契約の際には、当社の車両台数、従業員数及び現在の処理受託能力を勘案したうえで、当社の能力を超えない範囲であることを確認し、受託契約を締結する。

- ⑤ 産業廃棄物を引き受ける際には、7連複写方式または電子による産業廃棄物管理票（マニフェスト）の発行を求め、その記載内容と引き受ける産業廃棄物が一致することを確認したうえで処理業務にあたる。
- ⑥ 上記2-①～⑤に示した事項が確認されない場合は、受託契約及び実際の処理業務を絶対に行わない。
- ⑦ 複数の排出事業者から受託した産業廃棄物を同一の車両で運搬する場合は、責任関係の明確化、産業廃棄物管理票（マニフェスト）との整合性確保のため、容器への表示等により排出事業者が特定できるようにする。
- ⑧ 運搬車両には許可証の写しを常備する。

3. その他

- ・ 事務管理体制

事務担当者を配置し、行政に対する事務手続き等の業務を担当させる。

- ・ 社内教育体制

環境大臣が認定した産業廃棄物の収集運搬に関する講習会を受講した代表取締役〇〇〇〇が社内教育を担当する。許可取得までに、産業廃棄物収集運搬担当社員（運転手、事務担当者等）を対象として、適正処理にあたり必要な事項を教育する。許可取得後は、定期的に社内講習会を開催するとともに、社員に対し環境大臣認定の講習会を受講させることで産業廃棄物の適正処理に必要な知見の習得を図る。

- ・ 申請予定（申請中）都道府県名

福島県、山形県